

海外展開実現までのロードマップ

- 1.知る・調べる
海外展開の目的の明確化
- 2.計画する・準備する
国内での準備・計画策定
- 3.海外に進出する
海外の取引先・提携先等の開拓
- 4.事業の安定・拡大
海外販路拡大・現地拠点設立

支援施策：海外ビジネス戦略推進支援事業（F/S調査）【中小機構】

Q.2 支援施策を知ったきっかけは？
A セミナーに足を運んで
海外展開を考えた当初から、様々な支援機関のセミナーに足を運んでいます。その際に当支援施策のことを知りました。知ったのは何年も前でしたが、すぐ申請することにはならず、ようやく申請となりました。海外展開は特にかもしれませんが、何事も時期が大切です。海外からの引き合いが増え、商品価値を再認識した今が、その時だと思えました。

Q.4 アドバイスをお願いします。
A とにかく情報収集を
支援機関はたくさんあります。とにかくセミナーや、説明会等に足を運んでみる事です。いつも参加しているのと支援機関の方と面識ができます。また、自分の会社をより良くしたいという自助努力が周囲に通じれば、海外展開への道が広がると思います。とにかくセミナーに足を運んで、必要な情報や、自分に合う情報をキャッチする力をつけることが大切です。



ソレノイドコンテスト(ソレコン)のチラシ。アメリカからの応募を受け付けるため英語版のチラシを制作。



自動販売機や、自動ドアのセキュリティ、ATMなどソレノイドは身近なところで使われている。



中小企業、学生、ベンチャーの試作から量販・販売までをサポートするタカハイノベーションパーク(TIP)。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構(中小機構) 海外ビジネス戦略推進支援事業(F/S調査)

当該支援施策は企業の海外展開計画に際し、現地F/S調査(実現可能性調査)に同行し協力して調査し、経費の3分の2を中小機構が負担させてもらうものです。タカハ機工株式会社では、当社製品「ソレノイド」の応用範囲が広く、需要家や業界を特定することが難しいため、「保有する金型の種類の豊富さ」「一貫生産」「短

納期、低価格」等の優位性を周知することが困難です。その課題の解決に繋げるべく、アメリカでのF/S調査において展示会、潜在需要家が集まるTechShop(テックショップ)、大学等を訪問し出展効果、需要の有無、周知の方法等に関する情報を集めるとともにソレノイドコンテストのチラシの配布等も行いました。それらの情報に基づき、ターゲットとすべき展示会の選定や、効果的なWebページの制作を推進されました。今後これらの対策によって、当社について、中・小規模なロットの調達に悩む潜在的顧客から認知されることにより、飛躍的な売り上げの拡大が期待されます。



中小機構九州本部
国際化支援アドバイザー 谷 英一さん

支援機関担当者

08 タカハ機工株式会社

やれることは全てやる 今この時がベスト

担当者に聞く 代表取締役 大久保 泰輔 さん



Q.1 メインの支援施策は？

A 海外ビジネス戦略推進支援事業(F/S調査)を利用

アメリカへ展開するための前準備として、独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下、中小機構とする)の当支援施策を活用しました。当支援施策で、認知度を上げるために出展予定のアメリカ展示会について事前調査を実施し、様々な情報を入手する事が出来ました。また、英語版の会社HPも作成し海外向けのPRも可能な状態となっています。

Q.3 今後の展開は？

A ソレノイドコンテストでアメリカへ

今はヨーロッパへの輸出が圧倒的に多いのですが、アメリカの市場は非常に大きいと思っています。今後はアメリカをベースに事業を展開したいと考えています。実は「ソレノイドコンテスト」という、ソレノイドを活用した商品を一般の方から提案いただくイベントがあるのですが、こちらにアメリカから応募してもらい、知名度の向上、新事業に活かすつもりです。

海外展開をしようと思ったきっかけ

支援施策：海外ビジネス戦略推進支援事業（F/S調査）【独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）】



現在国内が売上の95%を占めている中、日本だけではいつかは行き詰まると感じています。海外には日本より広い市場があるので、会社の成長のため・地域貢献のため、海外に出ようと思いました。弊社の特徴は、ネットショップと設計・開発、部品から組み立てまでを一貫して行う生産体制です。在庫を作り、即日出荷等の素早い対応と試作品がすぐに手に入ることで、その後の柔軟な対応が功を奏し、お客様は増えてきています。海外向けにもネットショップを展開することにしましたが、自分たちだけではうまく売っていくことは難しいので、いろいろなところから支援を受けながら取り組むことに決めました。海外には、まだ弊社のこと、製品のことを知られていないので、展示会やネット販売等地道な活動を行い、浸透していきたいと考えています。



担当者に聞く 取締役 執行役員 大久保 千穂 さん

支援を受けた企業 タカハ機工株式会社

住所：福岡県飯塚市有安958-9
電話：0948-82-3222
HP：http://www.takaha.co.jp
資本金：5,000万円
従業員数：80名



会社概要

往復運動を瞬発的にする機構部品「ソレノイド」の開発・製造・販売等を行っている。当社の強みは開発から組み立てまで一貫して行う生産体制。ネット販売を中心に行っており、海外はヨーロッパを中心に台湾、インド等に輸出を行っている。